

# 今日と昨日は違いますか

—楽しく仕事をするために—

国立大学法人一橋大学

学 術 ・ 図 書 部

塚 田 吉 彦

# 目次：利用者のために

1. 図書館職員になるパターン
2. 図書館職員ステップアップと昇任
3. 人材育成の今日的意味
4. 図書館職員の専門性
5. 研修
6. 個人的役割と組織
7. 館長と管理職
8. 職員採用図書系専門試験
9. 中期目標・中期計画
10. 今週の動向
11. 利用者のために

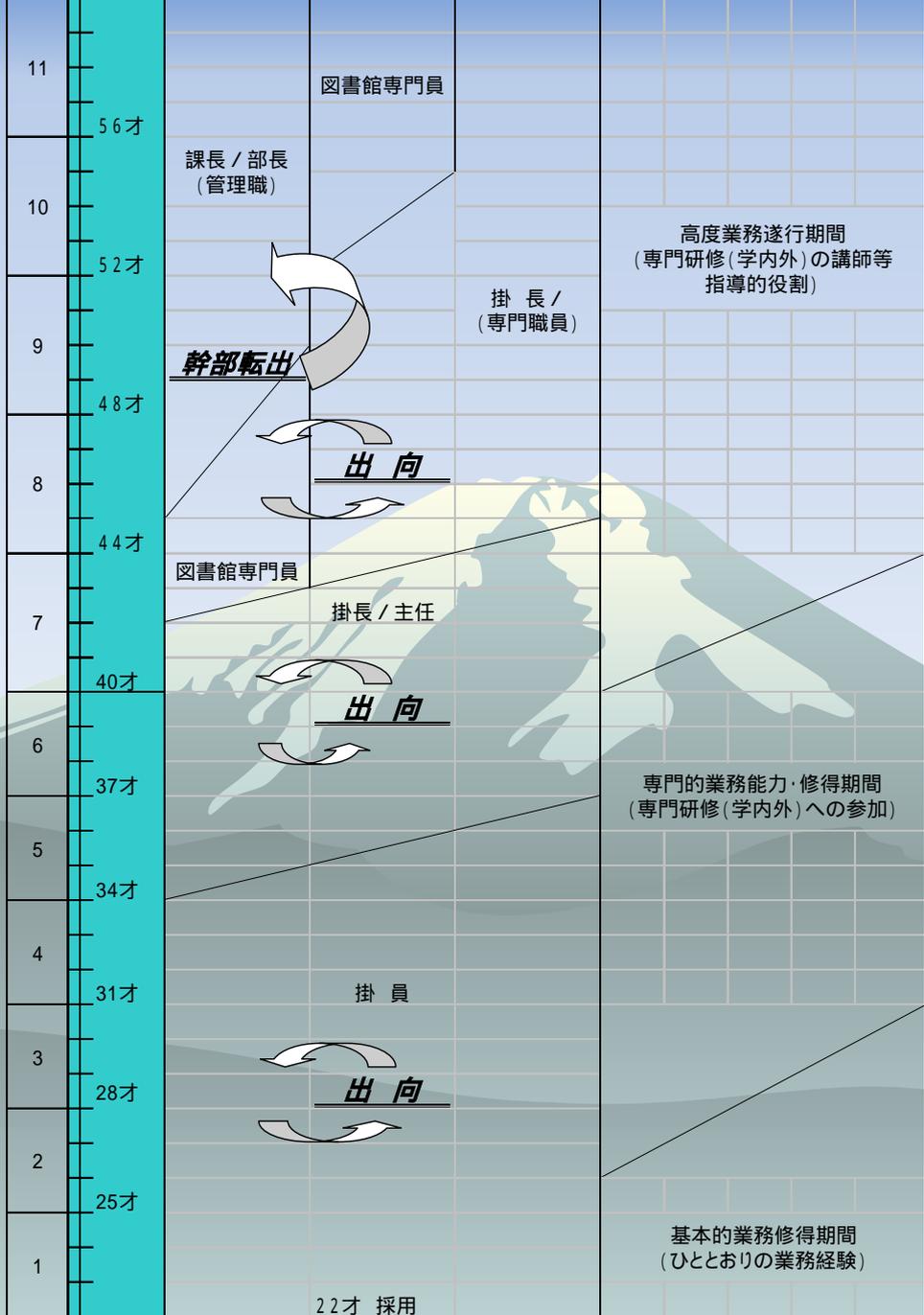
# 1. 図書館職員になるパターン

スタート時点は

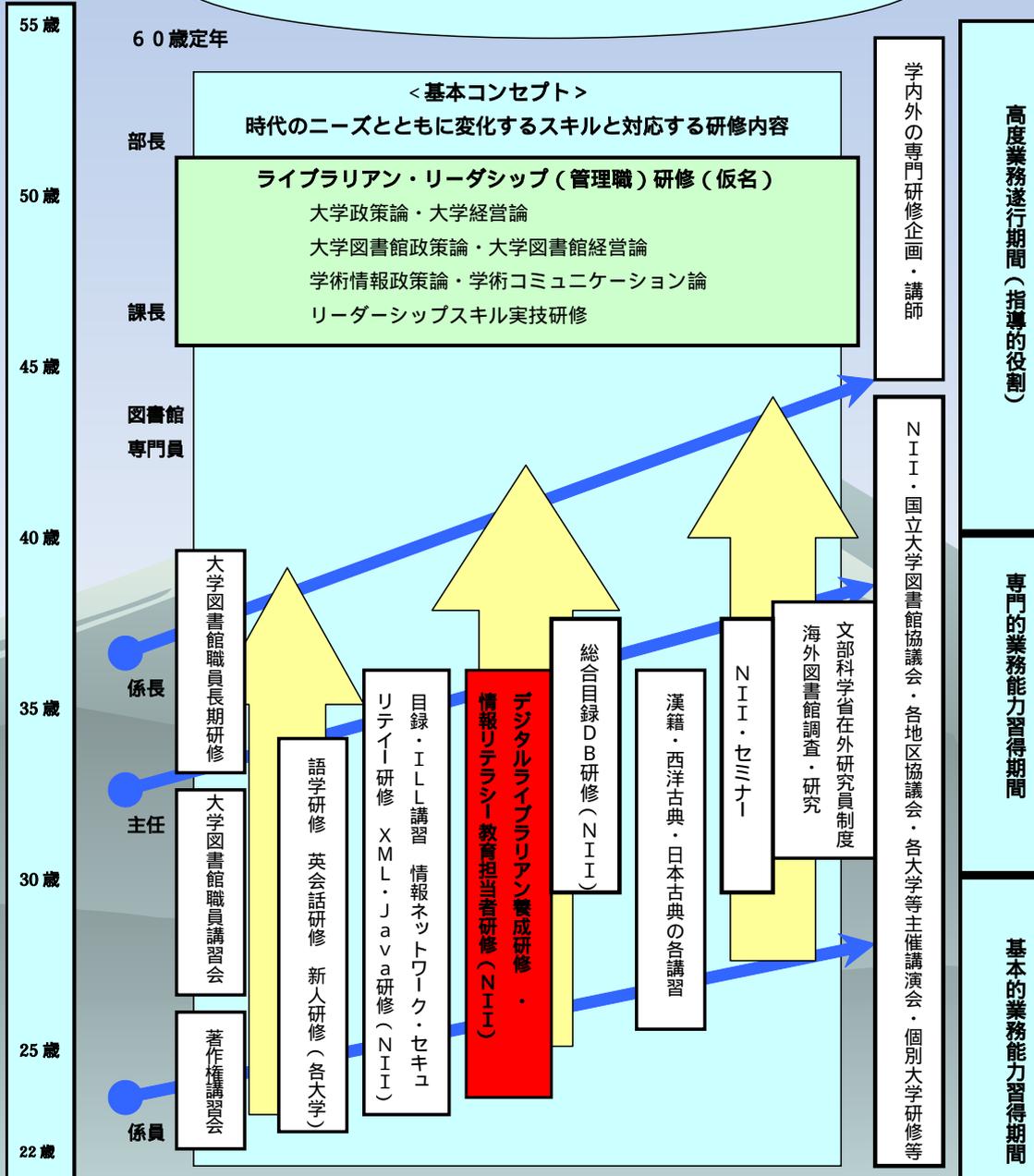
1. 図書館職員(司書)になるために勉強した
  - ・図書館学科を卒業
  - ・本に興味がある
2. ライフワーク実現のための手段として
  - ・研究者を目指す
3. 特に目的はなく
  - ・SLOWLIFE
  - ・採用(配属)や異動

## 2. 図書館職員ステップアップと昇任





# 図書館員のスキルアップに関する概念図



# 3. 人材育成の今日的意味(1)

## —我々を取り巻く環境の変化への対応—

### 1. 社会の変化

- ・バブルの解消
- ・少子化
- ・情報環境の革新(インターネット社会) 等々

### 2. 国立大学法人化

- 1) 大学のミッションの明確化と実現
- 2) 国際的な競争力
- 3) 経営責任と戦略
- 4) 社会に対する説明責任

# 3 . 人材育成の今日的意味 ( 2 )

## 3 . 学術情報の電子化

1 ) 学術情報の流通基盤の充実について

・ 科学技術・学術審議会 ( H 1 4 . 0 3 )

2 ) 電子図書館 ( 6 大学 + 1 0 大学 )

・ 学術情報発信に向けた大学図書館の改善について

3 ) E J ( 国大協タスクフォース )

4 ) ポータル ( G e N i i )

5 ) メタデータ ( J u N i i )

6 ) リポジトリ ( N I I - R E O )

## 4 . 図書館職員の専門性

### 1 . 基本的専門性

1) 資料収集(紙媒体)

2) 分類・目録

3) 保存・管理

4) 利用者対応

5) 相互利用

6) 参考調査

7) 図書館システム

8) 語学力、主題知識、マネジメント力(一般行政)

### 2 . 今日的専門性

EJの導入・交渉

WEB資源の収集

メタデータ、OPAC

コンテンツ作成・管理

リポジトリの構築

HP・マルチメディア

GIF

情報R教育支援

デジタル・レファレンス

ポータル・サイト形成

# 5. 研修(組織的)

- 1. 文部科学省
  - ・長期研修、職員講習会
- 2. 国立情報学研究所
  - ・目録 / ILL / IR 関連研修、NW / セキュリティ研修
  - ・学術ポータル、学術情報リテラシー教育
- 3. 国立大学図書館協会
  - ・シンポジウム、総会ワークショップ
- 4. 国公立大学図書館協力委員会
- 5. 日本図書館協会
- 6. その他
  - ・各地区・大学 等々

# 5. 研 修(個人的)

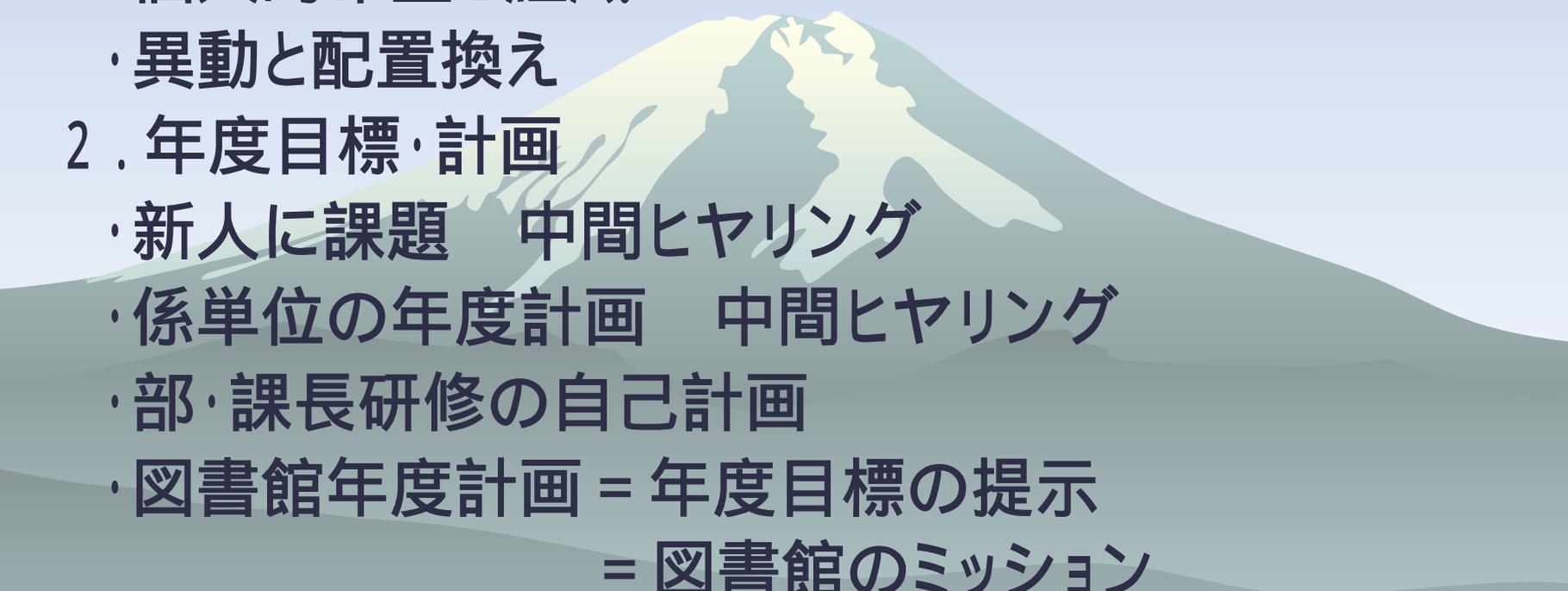
1) OTJ

2) 大学図書館研究 等

3) 語学研究

4) ノミネーション(飲んで話す)

# 6 . 個人的役割と組織 (模索中)

- 1 . 専門性の全てを習得できない
    - ・組織の中での役割分担
    - ・個人的希望と組織
    - ・異動と配置換え
  - 2 . 年度目標・計画
    - ・新人に課題 中間ヒヤリング
    - ・係単位の年度計画 中間ヒヤリング
    - ・部・課長研修の自己計画
    - ・図書館年度計画 = 年度目標の提示  
= 図書館のミッション
- 

# 7. 館長と管理職(1)

理想の上司と理想の仲間(部下)はいない

## 1. 館長の役割(私的希望)

- ・学内教員の意見調整
- ・ミッションの設定
- ・広報マン
- ・職員目標

# 7. 館長と管理職(2)

## 2. 部長の役割(私的目標)

- ・ミッションの計画者
- ・第一の広報マン
- ・ジャンヌ・ダルク
- ・良き理解者
- ・学内の経営者の一人

人材育成はまず“部・課長”が必要である

# 8. 職員採用図書系専門試験

人事院: 図書館学 種試験の廃止に伴い

## 1. 平成16年度

- ・適正試験(資格試験ではない)

資格試験は「国立大学法人等職員採用試験」

- ・関東甲信越地区と他6地区

## 2. 平成17年度

- ・国大図協人材委員会での検討

# 9 . 中期目標・中期計画(1)

## 1 . 項目の立て方

- ・ 図書館として1項目を立てた
- ・ 各項目の中に計画を記述した

## 2 . 大学のミッションと図書館の役割

- ・ 部局の積み上げ
- ・ 事務局と図書館事務局

## 3 . 組織の見直し(図書館事務組織の改編)

- ・ 図書館 + 情報処理部門 + (総情センター)
- ・ 図書館 + 情報処理部門 + 研究協力部門

## 9 . 中期目標・中期計画(2)

### 3 . 一橋大学附属図書館(各項目に記述)

- ・社会科学系外国雑誌センターの充実
  - ・利用者サービス向上のための電子化の推進
  - ・社会科学古典資料センターでの専門家養成
  - ・研究成果の情報発信
- 
- ・講義要綱(シラバス)の電子化
  - ・講義情報等の教育支援システムの整備

# 10. 今週の動向(1)

## 1. 科学技術・学術審議会

### 学術情報基盤作業部会

#### 1) 大学図書館WG

主査: 石井紫郎東大名誉教授(日本法制史)

土屋千葉大教授、伊藤名大館長

宮沢情報研教授、雨森元東大部長

・20日(木)第1回開催

#### 2) 学術情報発信WG

主査: 土屋千葉大教授、根岸情報研教授

#### 3) コンピュータ・ネットワークWG

主査: 伊賀健一日本学術振興会理事

# 10. 今週の動向(2)

## 1) 大学図書館WG (各委員からの意見)

- ・ E J への対応、ポータル等の電子環境整備
- ・ 人材育成、採用試験
- ・ 資料の保存機能と資源共有
  - = 全ての本の電子化
- ・ 学内での図書館の役割と位置付け
- ・ 学生サービスと研究サポートの充実

# 11. 利用者のために

1. ステップアップを目指す
2. 当面(年度)の目標を設定する
3. 仲間と議論する
4. 上司に進言する
5. 仕事を増やさず、改善する

利用者のために

家族のために

仲間のために

自分自身の豊かな人生のために